

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 9 月 26 日 (2019.9.26)

【公開番号】特開 2018-47049 (P2018-47049A)

【公開日】平成 30 年 3 月 29 日 (2018.3.29)

【年通号数】公開・登録公報 2018-012

【出願番号】特願 2016-184726 (P2016-184726)

【国際特許分類】

A 6 1 B 3/028 (2006.01)

A 6 1 B 3/032 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 3/02 A

A 6 1 B 3/02 C

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 8 月 10 日 (2019.8.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

左右一対に設けられた右眼用投光光学系と左眼用投光光学系を有し、視標光束を被検眼に向けて照射して視標を被検眼に投影する投光光学系と、

左右一対に設けられた右眼用矯正光学系と左眼用矯正光学系を有し、前記投光光学系の光路中に配置され、視標光束の光学特性を変化する矯正光学系と、

を有し、被検眼の光学特性を自覚的に測定する自覚式検眼装置であって、

前記右眼用投光光学系又は前記左眼用投光光学系の一方の投光光学系から視標光束を照射し、左右の被検眼の一方の被検眼に第 1 視標を投影するとともに、前記右眼用投光光学系又は前記左眼用投光光学系の他方の投光光学系から視標光束を照射し、前記左右の被検眼の他方の被検眼に第 2 視標を投影する制御手段と、を備え、

前記第 1 視標は、検査視標及び第 1 背景視標を含み、

前記第 2 視標は、前記第 1 背景視標と同一パターンの第 2 背景視標を含むことを特徴とすることを特徴とする自覚式検眼装置。

【請求項 2】

請求項 1 の自覚式検眼装置において、

前記第 1 視標は、第 1 融像視標を含み、

前記第 2 視標は、前記第 1 融像視標と同一パターンの第 2 融像視標を含むことを特徴とする検眼装置。

【請求項 3】

請求項 2 の自覚式検眼装置において、

前記第 1 融像視標は、前記検査視標を囲むように枠形状で構成されていることを特徴とすることを特徴とする自覚式検眼装置。

【請求項 4】

左右一対に設けられた右眼用投光光学系と左眼用投光光学系を有し、視標光束を被検眼に向けて照射して視標を被検眼に投影する投光光学系と、左右一対に設けられた右眼用矯正光学系と左眼用矯正光学系を有し、前記投光光学系の光路中に配置され、視標光束の光学特性を変化する矯正光学系と、を有し、被検眼の光学特性を自覚的に測定する自覚式検

眼装置において用いられる自覚式検眼プログラムであって、前記自覚式検眼装置のプロセッサによって実行されることで、

前記右眼用投光光学系から視標光束を照射し、右の被検眼に検査視標及び第 1 背景視標を含む第 1 視標を投影するとともに、前記左眼用投光光学系から視標光束を照射し、左の被検眼に前記第 1 背景視標と同一パターンの第 2 背景視標を含む第 2 視標を投影する第 1 投光制御ステップと、

前記左眼用投光光学系から視標光束を照射し、左の被検眼に検査視標及び第 3 背景視標を含む第 3 視標を投影するとともに、前記右眼用投光光学系から視標光束を照射し、右の被検眼に前記第 3 背景視標と同一パターンの第 4 背景視標を含む第 4 視標を投影する第 2 投光制御ステップと、

を前記自覚式検眼装置に実行させることを特徴とする自覚式検眼プログラム。

【請求項 5】

左右一対に設けられた右眼用投光光学系と左眼用投光光学系を有し、視標光束を被検眼に向けて照射して視標を被検眼に投影する投光光学系と、左右一対に設けられた右眼用矯正光学系と左眼用矯正光学系を有し、前記投光光学系の光路中に配置され、視標光束の光学特性を変化する矯正光学系と、を有し、被検眼の光学特性を自覚的に測定する自覚式検眼装置において用いられる自覚式検眼プログラムであって、前記自覚式検眼装置のプロセッサによって実行されることで、

前記右眼用投光光学系又は前記左眼用投光光学系の一方の投光光学系から視標光束を照射し、左右の被検眼の一方の被検眼に検査視標及び第 1 背景視標を含む第 1 視標を投影するとともに、前記右眼用投光光学系又は前記左眼用投光光学系の他方の投光光学系から視標光束を照射し、前記左右の被検眼の他方の被検眼に前記第 1 背景視標と同一パターンの第 2 背景視標を含む第 2 視標を投影する投光制御ステップを前記自覚式検眼装置に実行させることを特徴とする自覚式検眼プログラム。